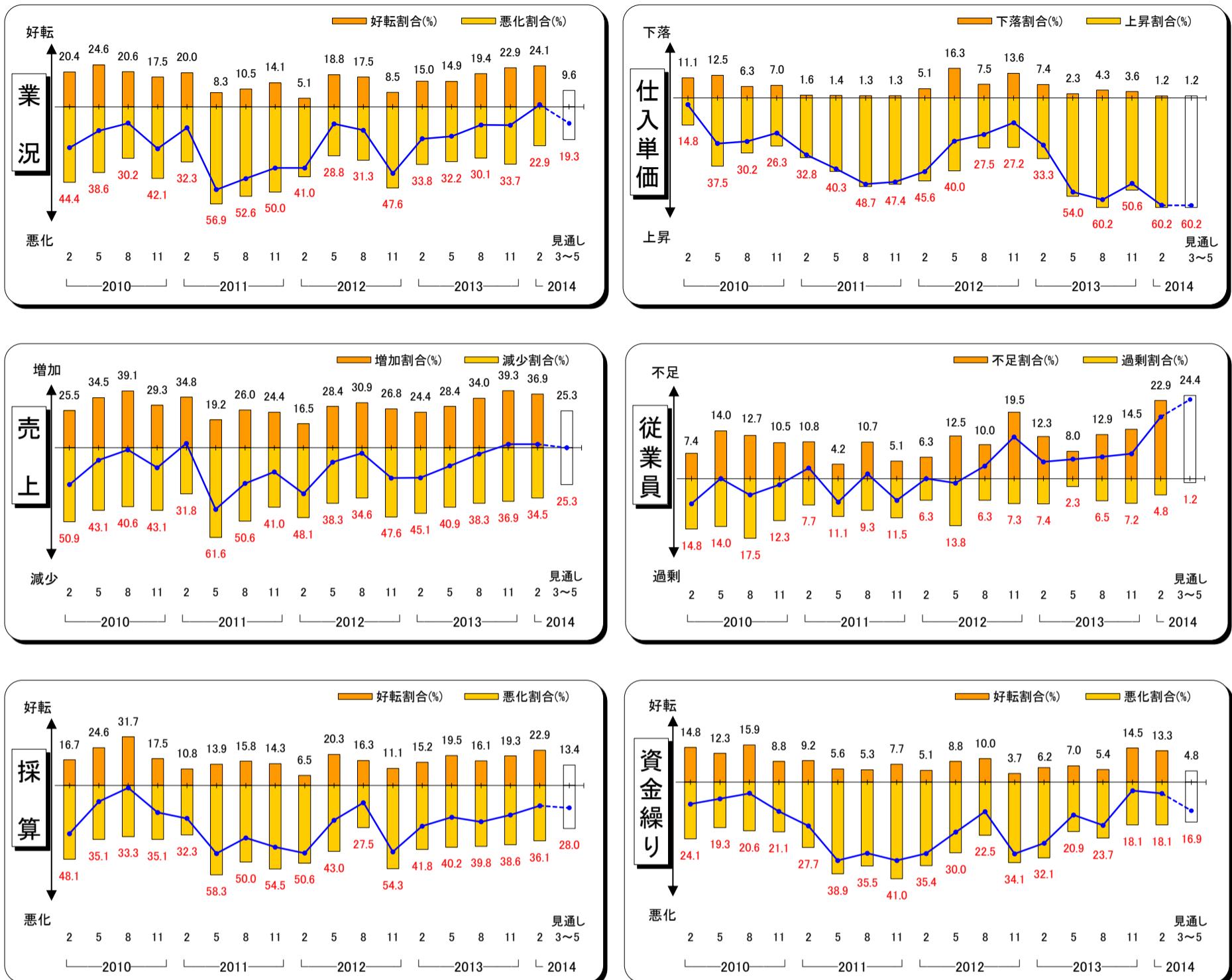


# 【製造業】①



## 【製造業】②

### 企業の声（順不同）

帆布製品製造業	消費税率引き上げ前の注文増あり。
木製家具製造業	普通にあるはずの材料の欠品が多い。消費税率8%引き上げに対する在庫調整らしい。納期に間に合わず、売上予測が立たない。
オフセット印刷業	インク・用紙等の材料が2月からまた値上がりました。
オフセット印刷業	仕事の量が減少し、資金繰りが悪化している。
生コンクリート製造業	幕張地区の大型工事の終了により出荷量が減少、さらには原材料費の上昇により採算が悪化している。
建設用金属製品製造業	先の見通しは、ある程度明るい雰囲気になって来ているので、大いに期待しています。しかし材料の仕入関係で、どれだけ上昇による影響ができるか・・・。それによって採算面で、いかに利益を確保していくか、全ての動向を注視している現状です。
物流運搬設備製造業	先行きの動向について、仕入価格、製造業(取引先)の海外展開、国内製造業の設備投資、受注単価といったものについて心配している。
金属工作機械製造業	新規事業を始めるための資金を工面し、準備が完了した。新たに営業を始める。(約1年かけてテストを行う)
生産用機械・同部分品製造業	年度末を迎えて、単品、短納期の物件が多発している。新年度の仕事量は不明だが、経済の好循環に期待する。
理化学機械器具製造業	設備投資の動向に注目している。
理化学機械器具製造業	昨年に比べ、僅かではあるが売上は増加傾向になっているが、先行きはまだ不透明である。
電子管製造業	3月期までの受注残も増えたが、消費税増税以降の動向が気になる。当然仕入価格はアップするが、製品価格への転嫁に苦慮する。来期の納入価格交渉への影響が心配である。
集積回路製造業	家電メーカーは90%を海外で製造。半導体も前工程は日本で製造しますが、後工程は海外製造のため、円安は影響しません。円安で良い業界は自動車関連だと思います。仕入単価は上昇のうえ、消費税率は4月より8%と、厳しい状況です。3月～5月は売上増加を見込めますが、それも昨年からの種まきの結果が実っての事です。
産業用電気機械器具製造業	基金解散話が出ている。5年後に代行返上もしくは解散できたとしても、会社負担は膨大である。5年後に国に返還する責任額が足りない場合、各会社が負担しなければならないそうである。国の対策は無いのか?
船舶製造・修理業	昨年11月に1人欠員が出たため、職員を募集しているのですが、未だに欠員のままになっています。